

凡例 (令和2年2月現在)

避難場所 (洪水対応のみ)

- 予定避難所
- 一時避難地 (公園)
- 広域避難地 (公園)

洪水

【河川氾濫(外水氾濫)】

対象河川 権率降雨

竹馬川 38mm(総雨量337mmの今までに
ないような大雨による氾濫を想定)

- <想定浸水深>
- 5.0m以上
- 3.0 ~ 5.0m未滿
- 0.5 ~ 3.0m未滿
- 0.5m未滿
- <家屋倒壊等氾濫想定区域>
- 流速が速く、木造家屋が倒壊する
おそれのある区域
- 洪水の際に地面が削られる
おそれのある区域

浸水深と家屋の関係



水位観測所

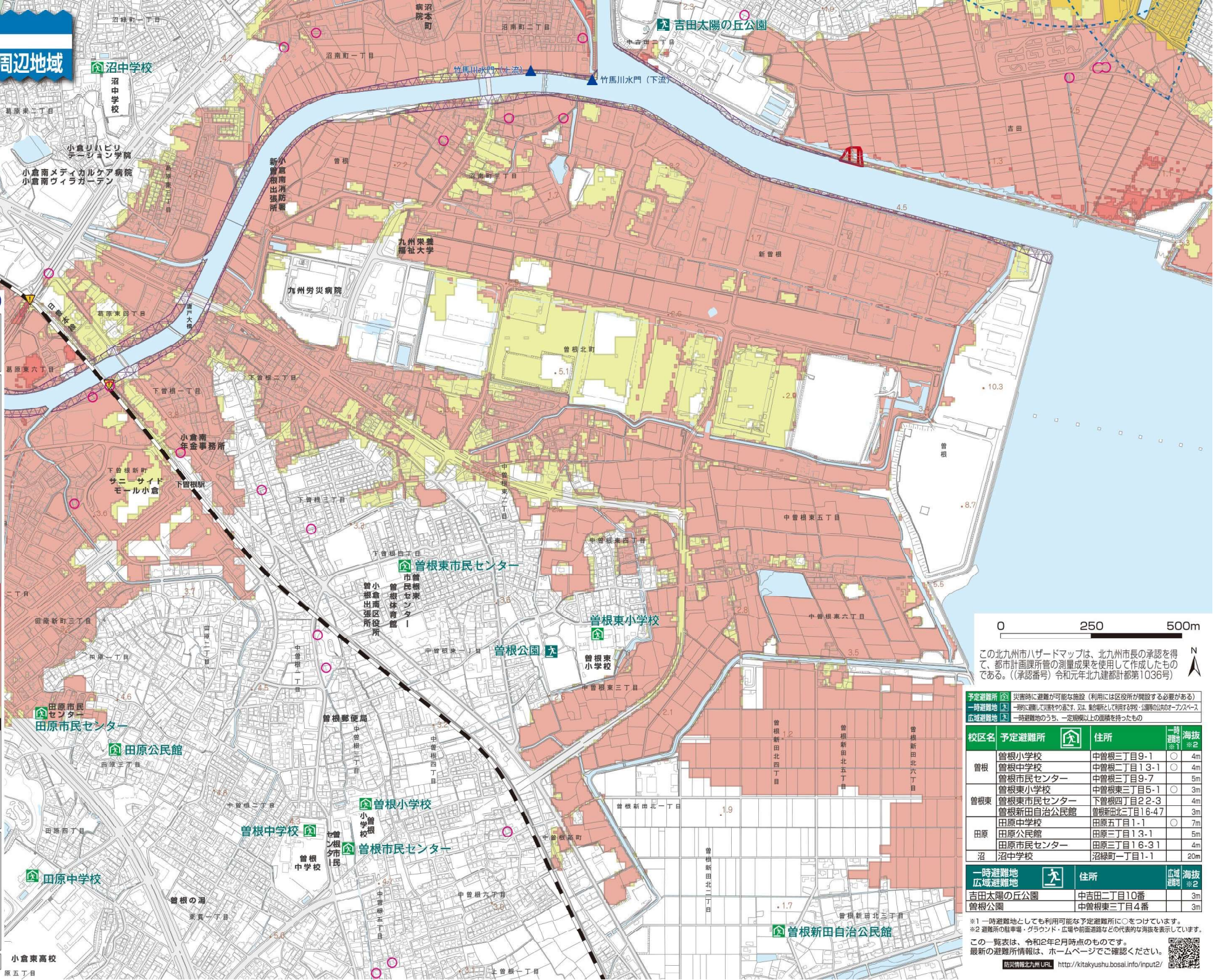
【内水氾濫】

- 内水被害発生箇所 (平成19年度以降、内水被害の
通報があった箇所)
- ▽ アンダーパス (掘下げ型立体道路)

土砂災害

- がけ崩れ
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 土石流
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 地すべり
- 土砂災害警戒区域

0.0 標高点 (海拔)



この北九州市ハザードマップは、北九州市長の承認を得て、都市計画課所管の測量成果を使用して作成したものである。(承認番号) 令和元年北九建設計都第1036号

予定避難所	災害時に避難可能な施設 (利用には区役所が開設する必要がある)
一時避難地	一時的に避難して浸水を軽減する、又は、緊急時に利用するに役立つ公共のオープンスペース
広域避難地	一時避難地のうち、一定規模以上の面積を持ったもの

校区名	予定避難所	住所	一時避難地	海抜
曾根	曾根小学校	中曾根三丁目9-1	○	4m
	曾根中学校	中曾根二丁目13-1	○	4m
	曾根市民センター	中曾根三丁目9-7	○	5m
曾根東	曾根東小学校	中曾根東三丁目5-1	○	3m
	曾根東市民センター	下曾根四丁目2-3	○	4m
	曾根新田自治公民館	曾根新田三丁目16-47	○	3m
田原	田原中学校	田原五丁目1-1	○	7m
	田原公民館	田原二丁目13-1	○	5m
沼	田原市民センター	田原三丁目16-31	○	4m
	沼中学校	沼緑町一丁目1-1	○	20m
一時避難地	住所	広域	海抜	
吉田太陽の丘公園	中吉田二丁目10番	○	3m	
曾根公園	中曾根東三丁目4番	○	3m	

※1 一時避難地としても利用可能な予定避難所に○をつけています。
 ※2 避難所の駐車場、グラウンド、広場や前庭道路などの代表的な海抜を表示しています。
 この一覧表は、令和2年2月時点のもので、最新の避難所情報は、ホームページでご確認ください。
 防災情報北九州 URL <http://kitakyushu.bosai.info/input2/>

竹馬川洪水ハザードマップ



あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、より詳しい内容を掲載しています。

防災ガイドブック掲載URL
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kiki-kanri/13801096.html>



発行 令和2年2月
問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
〒803-8501北九州市小倉北区城内1-1
TEL : (093)682 2110

洪水避難の心得

気象情報・水位情報・避難情報を積極的に集め、浸水前の安全なうちに避難しましょう。大雨に伴い土砂災害が発生することもあります。浸水した後は、より高い場所へ避難しましょう。

気象情報 水位情報 避難情報

これらの情報は、登録制防災メール及びLINE等により入手できます。
[登録方法はこちら](#)

避難情報 避難情報は、テレビ・ラジオ、緊急速報メール（エリアメール）、インターネット、広報車などからも入手できます。

警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 高齢者等は立退き避難する。その他の者は、立退き避難の準備をし、自発的に避難する。	警戒レベル4 避難勧告 避難指示（緊急） ※1 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令 避難所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。災害が発生するおそれが極めて高い状況等となっており、緊急の避難をする。	警戒レベル5 災害発生情報 ※2 可能な範囲で発令 既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。
--	---	---

災害発生



浸水前の早い段階で安全な場所へ
水の中を避難するのはとても危険です。浸水前の避難にどの情報が活用できるかを北九州市防災ガイドブックなどで確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

浸水した後は、より高い場所へ
浸水後は無理に避難せずに、近くの高い建物や自宅の高い場所で身を守りましょう。浸水の状況によっては**とどまることが危険な場合**や**浸水が長引いて孤立してしまう地域**があります。

早い段階での避難先
避難できる安全な場所を記入しましょう。
記入欄

裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。

逃げ遅れたときの避難先
近くにある高い建物や高い場所を記入しましょう。
記入欄

登録制防災メール及びLINE

もらって安心 災害情報配信サービス（北九州市） 気象情報、避難情報等 登録メール e-kitakyushu@xpressmail.jp	防災メール・まもるくん（福岡県） 気象情報、避難情報等 登録メール mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp	北九州市LINE 市政情報、避難情報等 LINEの検索欄で「北九州市」を検索
---	---	---

裏面を見て、自宅（事業所）がこのような区域にある場合には、自宅（事業所）以外への避難が必要です。

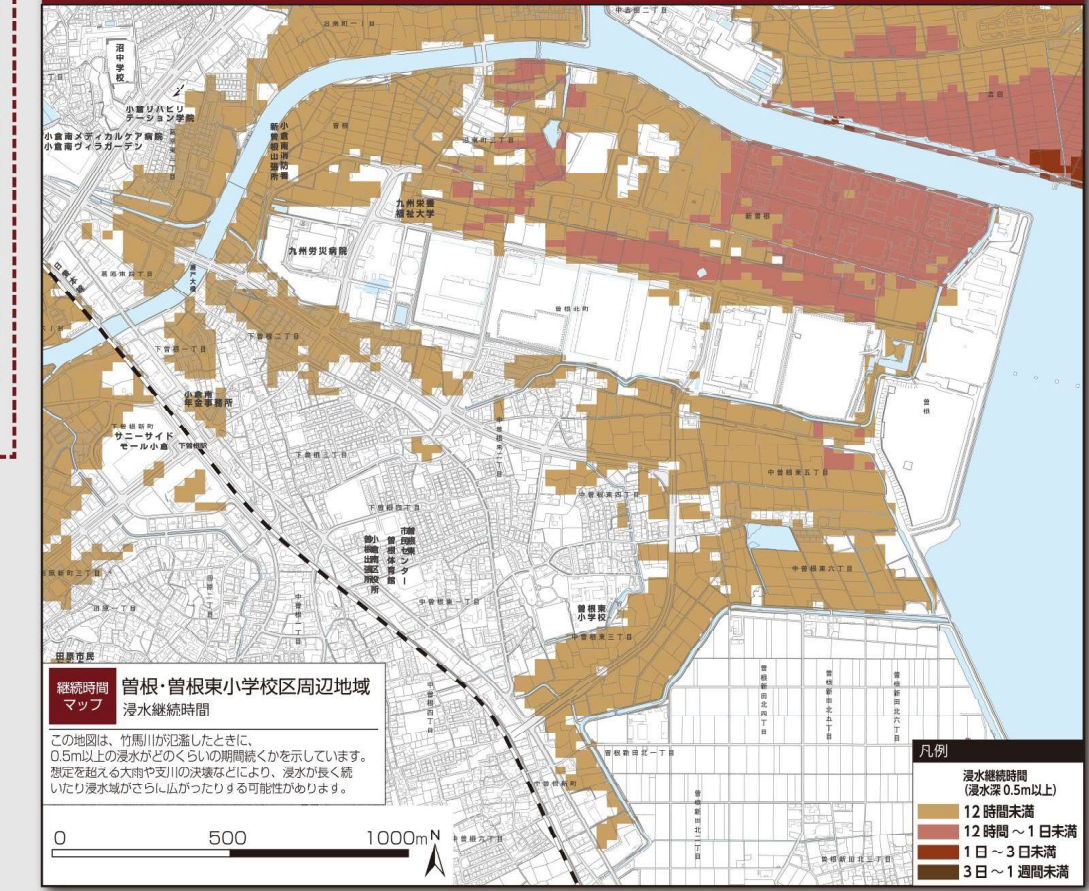
流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域
裏面のマップでは、**|||||**

洪水の際に地面が削られるおそれがある区域
裏面のマップでは、**▲▲▲▲**

居住階が水に浸かってしまうおそれがある区域
裏面のマップでは、**5m以上** 3階床上浸水が予想される
3~5m未満 2階床上浸水が予想される
0.5~3m未満 1階床上浸水が予想される
0.5m未満 1階床下浸水が予想される

いずれかにあてはまる場合には、まず、早い段階で安全な場所への避難を考えましょう。また、逃げ遅れたときの避難先として、近くの高い建物などを考えておきましょう

浸水が長引くと、とどまることが可能でも孤立するため、浸水前に浸水想定区域外に避難することが重要です。



このハザードマップに使用した竹馬川の浸水想定区域図について
平成27年5月の水防法の改正に基づいて、令和元年5月に福岡県は想定最大規模の降雨により竹馬川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水深等を公表しました。このハザードマップは、想定最大規模の浸水想定を基に作成しています。